



各年代がそろった従業員

設備、手法の工夫を凝らして 塗装の効率、品質を高める

オーエム工業 株式会社

事業内容と沿革

多品種の塗装を 短納期でこなす

先代である、奥山忠義社長の父が現在地で塗装会社として創業した。産業機械 筐体などの焼き付け塗装、常乾塗装を行う企業である。焼き付け塗装では長さ6,000mm×幅2,800mm×高さ2,200mmサイズの焼き付けが可能な立釜乾燥炉を保有し、小規模企業ながら大物塗装を得意としている。一方で連続して塗装が可能な流しライン設備も保有し、多品種の塗装を短納期で処理できる能力を持つ。

塗装は洗浄工程から始まり、下塗り、中塗り、上塗りを行った後、焼き付けや常温で乾燥する工程で完了する。塗料の種類は求められる塗装品質によって変わり、焼き付け塗装では、メラミン樹脂塗料、アクリル樹脂塗料、フッ素樹脂塗料、粉体塗料を使用する。常乾塗装では、ウレタン樹脂塗料、エポキシ樹脂塗料を使用する。塗装の品質は塗膜にゴミが付かないよう清掃を徹底するなど、いかに手をかけるかに左右される。

同社は長年の経験を基に、塗装対象物の脱脂や研磨などの下処理、塗料の配合、塗装方法など各工程に工夫を凝らすことで、塗装品質を高めることに重点を置いている。小規模、少人数ながらも充実した設備と品質を高める職人の腕で、リピート受注の多さにつながっている。

強み

2室分割式の 特注乾燥炉導入で、生産性向上

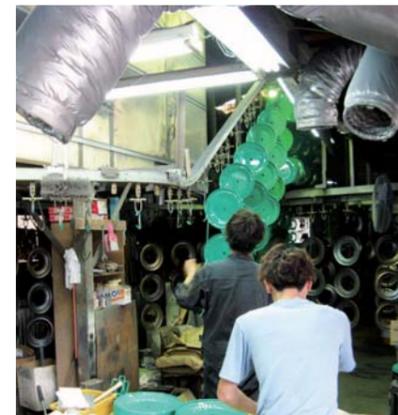
現在の立釜乾燥炉は平成26年度補正予算の経済産業省「ものづくり補助金」を受けて、約1,200万円を投資して導入、平成28年1月に稼働した。新設備導入を機に、狭いスペースの中で効率的な塗装を行える工夫を施した仕様にした。

この乾燥炉は、先代が考えたアイデアを形にした特注のもので、炉内を2室に分割でき、温度設定の組み合わせなどが自在にできる。仕事量や塗装対象物に応じて2室を有効に使い分けるなど、フレキシブルに炉を運用できる。多品種への対応も容易になり、処理時間も以前の炉に比べて約30%削減するなど生産性が向上した。省エネルギー効果や塗料削減効果が大きく、コスト競争力も高まっている。以前に比べてさらに大物ワークの塗装が可能になり、塗装品質も高まった結果、受注の増加につながった。

塗装品質で高い評価を得た結果として、産業機械向けの塗装だけでなく、新規分野からの注文が入ることも増えている。ブランド衣料を販売する店舗の装飾物の塗装を継続的に受注している。店舗装飾向けなど意匠性の高さを求められる特殊な塗装にも積極的に挑戦することで、多様な塗装技術の習得につながっている。



2室分割式の乾燥炉



連続塗装ができる流しライン



塗装を施した製品



現在の本社工場外観

- 試作・受託
- 短納期対応
- 多品種少量
- 量産対応
- コスト相談
- オンラインワン
- 海外対応

カドマイスターの取り組み

毎日の工程を全従業員で共有

奥山社長は先代から平成27年に社長を引き継いだ。前職はITシステム設計技術者で、平成19年にオーエム工業に入社、先代から塗装、経営について学んだ。奥山社長から見れば先代は「良くも悪くもワンマン経営。自分ですべてやらないと気が済まないタイプだった」と分析する。良い面は取り入れ、悪い面は改善する形で、社長就任後は自分なりのやり方を実行している。その1つが毎日の工程表作成。仕事の優先順位を決め、工場に掲示する。かつては先代の口頭指示だった工程を全社員が共有できるようにし、それだけでも「仕事の漏れがなくなり、納期短縮につながった」という。

達成感が仕事の原動力

従業員構成は20代3名、30代1名、40代2名、60代3名とバランスがとれている。奥山社長は「若手にも重要な仕事をまかせる」方針を貫き、各自が責任を持って仕事をやり遂げることで仕事へのモチベーションを高めている。

塗装品質を高めることで、お客様の商品の付加価値を高めま



代表取締役
奥山 忠義さん

塗装はお客様の商品の付加価値を高めるためになくはないものとらえ、より良い商品作りに少しでもお力添えできるように心がけてきました。少人数で塗装を手がけていますが、乾燥炉の工夫や高いモチベーションを持つ職人の腕で、お客様から「対応が早い」、「塗装品質が高い」と評価をいただいています。今後も全社一丸となって塗装品質を高める取り組みや新たな塗装への挑戦を続け、既存のお客様に満足していただくとともに、新規のお客様を増やしていきたいと考えています。

主な事業内容
産業機械筐体(きょうたい)や店舗装飾品の塗装

主な取引先(納入先)
産業機械メーカー、アパレル・宝飾品販売店

【住 所】〒571-0017 大阪府門真市四宮3-9-28
【TEL】072-883-6862
【FAX】072-884-7927
【創業】平成元年4月 【設立】平成元年4月
【資本金】1,000万円 【従業員】9名

今後の展開

新工場への移転を検討

現在の乾燥炉を導入後、生産性改善効果で利益率が向上した。店舗装飾品などの特殊塗装の受注も増えた。だが奥山社長は「現在の顧客の分母を増やすことが業績の安定、従業員の満足にもつながる」とし、当面は強みを持つ産業機械向け塗装を拡大する方針を立てている。ただ現状の設備では仕事量の飛躍的な増加には対応しきれない。

そこで、工程改善などの努力でさらに利益率を高めながら、次代をにらんだ投資を検討する。現工場の敷地は約300坪で新設備を導入できる余地はないため、新工場への移転を考えている。現在、候補地を選定中で、従業員の通勤の便などを考慮して門真市内での工場移転を模索する。

奥山社長が求める「少なくとも現工場より広い敷地」の新工場が実現すれば、塗装技術の幅を広げる。現在の鉄、アルミニウム、ステンレスなど金属への塗装に加え、幅広い非鉄材料への塗装技術開発にも挑戦する。

<http://om-tosou.sakura.ne.jp/>

